



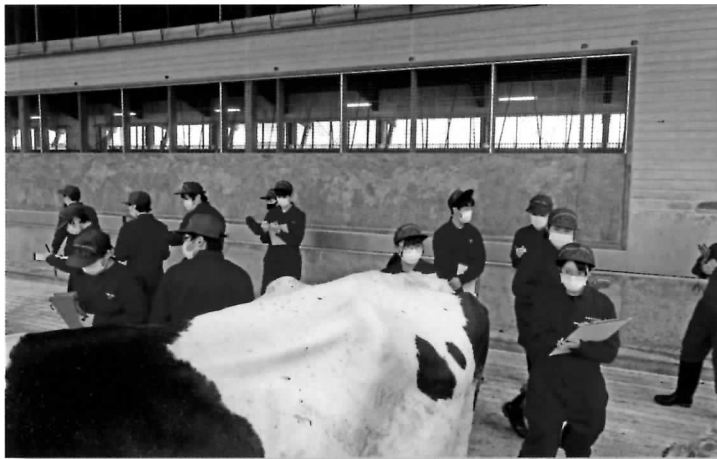
草 干 里

北海道中標津農業高等学校 P T A ・ 教育振興会

第32号

令和4年9月29日

〒088-2682
標津郡中標津町計根別南2条西1丁目1-1
Tel 0153-78-2053
Fax 0153-78-2465
URL: <http://www.nakashibetsu.jp/nagri/index.htm>
E-mail: nagri-gyomu@ed.nakashibetsu.jp





PTA会長 清原孝志

本年度PTA会長を務めます清原と申します。

日ごろからPTA活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

令和4年度がスタートしましたが、いまだ新型コロナウイルス感染症の影響が続き、子どもたちは、学校生活を心から謳歌できる状況とは言えません。

3年生においては入学以来新型コロナウイルスの影響を受け、もどかしい思いだろうと察します。

それでも生徒たちは、学校生活に精一杯取り組み、先生方は試行錯誤しながらも、学校ではできる限りの教育活動が実施されています。

今年度は少しでも状況が好転することを期待しているところです。

そのような中において、私たちPTAも試行錯誤しているのが現実です。

昨今、新型コロナウイルスの影響など、社会は変革の時期を迎え、多方面で合理化や変化を求められています。

しかし大切なことは、本来の目的

やミッションの追求は変わらないということとです。

そして、そのための合理化や時代に沿った変化は推進する。言わば、変化しないために変化するということとです。

PTA活動も計画通りには実施できないかもしれません。しかし、学校行事のサポート他、できる活動を通して生徒たちの成長に寄与し、PTA本来の目的を忘れず個性豊かなひとりひとりが輝く瞬間をサポートしたいと思っています。

また、PTA活動のベースとなる重要な視点に、会員間の交流や親睦があります。

校区を持たない高校にとっては、PTAを通じた親睦は、円滑なPTA活動のため、保護者間や学校とのコミュニケーション構築のため、大切な意味を持つていると思っております。

そして、お互いの顔を知ることが、子どもたちの安心安全な学校生活につながると思っています。

新型コロナウイルスの状況から、このような親睦活動は困難ですが、この『お便り』を通して情報発信し、情報共有することで、少しでも会員の皆様が互いに親近感を持つていただき、PTA全体としても親近感のある存在でありたいと思います。

子どもたちにとっても会員の皆様にとっても実り多き1年となるよう、よろしくお願い申し上げます。



校長 渡辺晃史

日ごろから本校の教育活動に、保護者の皆様、教育振興会の皆様をはじめ、地域の皆様、関係機関の皆様にご多大なご支援をいただきありがとうございます。今年度より公立高校では「スクール・ミッション、スクール・ポリシー」の策定、公表が始まりました。町立

高等学校として農業の専門的な指導を生かし、地域資源を積極的に活用すること、中標津町や地域社会の未来に対し、農業の立場から持続可能な発展に貢献できる人材の育成が求められていることから、本校がスクール・ミッションを「地域や社会の持続可能な発展に貢献できる人材の育成」とし、保護者の皆様や教育

振興会の皆様をはじめ、地域の皆様ととも、スクール・ミッションの掲げた人材育成を推進してまいりますので、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。また、入口から出口までの教育活動を一貫した体系的なものに再編成し、継続性を担保するため、スクール・ポリシー(①育成を目指す資質・能力に関する方針)②教育課程編成及び実施に関する方針)③入学者の受け入れに関する方針)を掲げておりますので、本校HPを併せてご覧いただき共有くだされば幸いです。

現在、新型コロナウイルス感染症拡大等は、全国的な第7波といわれる感染拡大に直面し、未だ終息が見えない状況にあります。私たちの生活様式も様々な制約等があります。

が、生徒の安全と学びの保障を両輪にしながら、教育活動を止めることなく進めております。本校においてもあらゆる感染対策等を講じながら、指導の徹底を継続しております。皆様、地域の皆様、関係機関の皆様におかれましては引き続きご協力をお願い申し上げます。

今年度のPTA事業では、全道高P連釧路・根室大会がリポート開催となり、準備・運営にご支援ご協力をお願いいたします。全国高P連石川大会は参集型とリポート型のハイブリッド開催、農業クラブ各種大会等は原則的に感染対策を徹底した上での参集型開催、また根室管内すべての高校で学校祭における一般参加や飲食物販売を認めない形での開催とするなど、あらゆる制約の中でも、なるべ

く中止ではなく如何にして取り組めるかを見出しながら、PTA事業計画や実施の見直し等をしてまいりますことにご理解ご了承いただければと思います。

子どもたちや学校を取り巻く課題が複雑化・多様化しています。目の前の事象から解決すべき課題を見出し、主体的に考え、また多様な立場の者と協働的に議論し、納得解を導いていくことが求められます。予測困難な時代において、人間らしく豊かに生きていくために必要な力を、様々な教育活動を通して子どもたちが身に付けるには、これまで以上にPTAや教育振興会、地域と力をあわせ、心通わせながら建設的に事業を推進していくことが必要不可欠であると考えています。

今後、保護者の皆様や教育振興会の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様にご信頼され、ご期待にこたえることができるよう、全教職員が一丸となつて教育活動に取り組んでまいりますので、重ね重ね温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

が、生徒の安全と学びの保障を両輪にしながら、教育活動を止めることなく進めております。本校においてもあらゆる感染対策等を講じながら、指導の徹底を継続しております。皆様、地域の皆様、関係機関の皆様におかれましては引き続きご協力をお願い申し上げます。

今年度のPTA事業では、全道高P連釧路・根室大会がリポート開催となり、準備・運営にご支援ご協力をお願いいたします。全国高P連石川大会は参集型とリポート型のハイブリッド開催、農業クラブ各種大会等は原則的に感染対策を徹底した上での参集型開催、また根室管内すべての高校で学校祭における一般参加や飲食物販売を認めない形での開催とするなど、あらゆる制約の中でも、なるべ

く中止ではなく如何にして取り組めるかを見出しながら、PTA事業計画や実施の見直し等をしてまいりますことにご理解ご了承いただければと思います。

1学年紹介

生産技術科 1A担任 日下 凌

4月11日、1年A組20名は中標津農業高等学校の一員となりました。この先たくさんの困難に直面したとしても、恐れることなく前向きに挑戦し続ける人に育ってほしい、そのような願いを込めて「勇往邁進」という学級目標を掲げました。この学級目標を胸に、彼らは日々の授業だけではなく、実習や部活動、さらには資格取得等に積極的に取り組むことができている。また、農高祭等の学校行事においても積極的に取り組む姿勢が見られ、活気のある良いクラスになってきたのではないかと思います。1年A組持ち前の明るさを武器に、今後も様々なことに積極的に挑戦し、自信をつけ、それぞれが目標を持った学校生活を送ることができるよう期待しています。



食品ビジネス科 1B担任 佐藤 晶彦

1年B組21名は中標津農業高等学校の一員として、新たなスタートを切ることとなりました。高校生ということを実感し、学校生活で身に付けたことを生かし、社会人の一員になれるように覚醒して欲しいという気持ちを込めて「wake up!」という学級目標を掲げました。「まずは動く」を合言葉に何事にも取り組むことを重視し、互いのやる気を呼び起こし、一致団結、協力し合いながら行動できる学級を目指していきます。まだ初めてのことばかりで慣れないこともありますが、それぞれ明るく元気いっぱいのクラスです。一人一人の個性や能力、クラスの持ち味を十分に発揮し、学校・農業クラブ行事など積極的に参加し、充実した学校生活を過ごせるよう切に願っています。



1学年研修報告

1A HR長 峰松 晴

今年度は新型コロナウイルスの影響によって1日研修でしたが、全員が最後まで楽しむことができて1年生の最初にふさわしい良い行事になったと思います。私が特に楽しかったのは最後に行った借り人競争です。全員が活躍する場があり、お題に沿った人を連れてくるという点で知らない人との交流ができ、とても打ち解けられました。入学したばかりで1年生全員と交流をすることは不安でしたが、企画を通して楽しみながらコミュニケーションを図ることができました。この研修で培った積極性を今後の生活に活かしていきます。

1B HR長 佐藤 俊太

最初は面識がない生徒も多く、とても緊張しました。緊張からあまり積極的に行動できませんでした。1学年の中を深めるために先生方が考案してくれたアイスブレイクを通し、会話をしたことがない生徒とも交流を持つことができました。印象に残ったのは、「人間知恵の輪」です。この競技をクリアするために必然的にコミュニケーションを図ることができ、それがきっかけで新たな友人もできました。とても充実した時間になりました。1学年研修に参加できたことに感謝しかありません。この経験を今後も学校生活に生かし、頑張ります。

今年度も330°アリーナで1学年研修を行いました。研修では、円滑なコミュニケーションや学級・学年団の形成を目的として実施しました。集団行動では、全員で協力し、様々な隊列を組み、集団行動の意識を高めることができました。その後、中農生クイズやアイスブレイクなどを通じた交流を行い、クラス、学年の団結力を高めることができました。今回学んだこと、身に付けたことを今後の学校生活に生かせるよう、1学年の生徒・教員が一体となって授業・実習に取り組んでいきます。

(佐藤晶彦)

第60回 農高祭

今年度の農高祭もコロナウイルス感染症防止対策の為、昨年と同様に内容を縮小し、校内のみでの実施となりました。午前中はダンスパフォーマンスを行い、午後からは熱志会執行部による借入競争が開催されました。豪華景品が用意されたこともあり、皆さん応援にも熱が入っていました。

今年度の農高祭テーマは「花」でした。生徒それぞれがナンバー1ではなくオンリー1を目指し、自分色の花を咲かすことができたのではないのでしょうか。皆さまのご協力により、大成功で終えることが出来ました。ありがとうございました。



インターンシップ

管内の企業様に多大なご協力をいただき、2・3学年のインターンシップが行われました。

6月20日(月)から24日(金)の5日間で3年生39名が、8月22日(月)から26日(金)の5日間で2年生48名が職業体験を行いました。

新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、進路活動が軒並み中止になる中で行われた貴重な機会となりました。特に進路活動を控える3年生にはとても重要な体験となったようです。受け入れていただいた地域企業の皆様、貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。



合同企業説明会

5月10日(火)、3年生を対象とした合同企業説明会が行われました。今年度は町内と管内の企業9社にご協力いただきました。

昨年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、インターンシップが中止になってしまったため、進路活動を進める3年生にとって、企業の方のお話を直接聞くことができる貴重な時間となりました。企業の皆様には、会社の説明だけでなく、業界や職種の説明など、生徒達の興味や関心を引き出すお話をたくさんしていただきました。

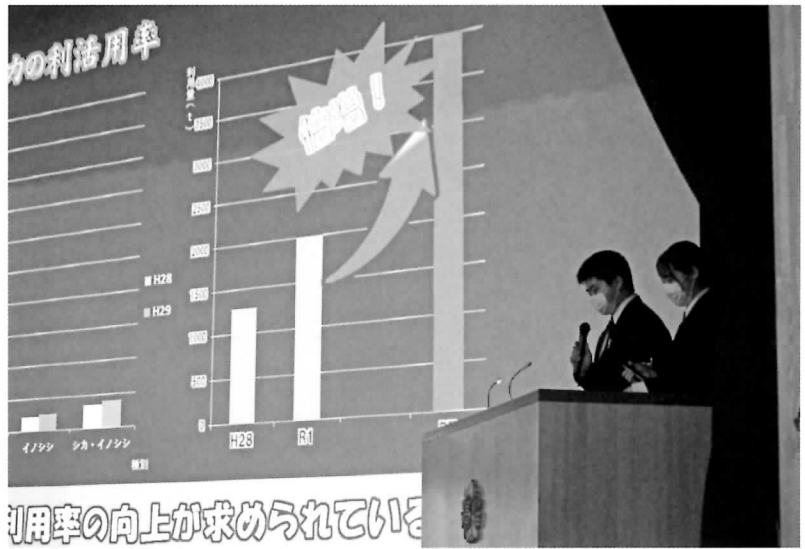
この企業説明会を機に、企業選びや職業研究など生徒達の進路活動もより活発になりました。お引き受けいただきました企業の皆様、ありがとうございました。



プロジェクト 計画発表

生産技術科 3年 椎田 恋羽

今年度のプロジェクト計画発表会では、前年度の成果・反省を踏まえSDGsへの取り組みを盛り込んだプロジェクト計画が発表されました。各研究班が実績発表大会に向け、前年度の研究をレベルアップさせた研究や斬新なアイデアを取り入れた新たな研究など、今年度も興味深い研究となりそうです。計画段階ではありますが、完成度の高いスライドや発表力、今から今年の実績発表大会が楽しみです！！



校内技術 競技大会

食品ビジネス科 3年
畑中 葵

3年間で最後の技術競技大会は、今まで以上に学習して臨み、結果発表でも人一倍緊張していたように思います。結果発表で「優秀賞 食品ビジネス科3年 畑中さん。」と耳にした時はとても嬉しかったです。また、全道大会に向けて様々な先生方に指導していただき、私の苦手とする食品化学や微生物についても理解ができました。全道大会では入賞することはできませんでしたが、3年間の学びが十分に発揮できたと思います。

農業について調べ、理解することで身についた知識や継続力を大切にしたいと思います。



校内意見 発表大会

食品ビジネス科 3年
漆原 優

今年度の校内意見発表大会は、東北道大会での当番校業務や運営を想定した開催としました。そのため、司会・計時・案内など運営に欠かせない仕事を担う生徒は、校内意見発表大会を予行とし、東北道大会に向けた役割確認や改善点を確認しました。また、今年度の発表は、牛乳の消費拡大やこども食堂・新たな料理の開発など中標津町の身近な課題から日本で促進すべき活動、研究班活動を一層深く考えられた発表が多く、発表者だけでなく聴衆者を含む全員が学びのある大会となりました。



「Hello! 中農 Radio」 ~ FMはな ~

中標津農業高等学校の熱志会執行部では、生徒会行事や農業クラブ行事の運営の他に、中標津町FMはな放送局 (FM87) のコーナーをお借りして「Hello!中農Radio」を放送しています。このコーナーでは、中農生の日頃の活動などを紹介しています。熱志会執行部がメインパーソナリティーとなり、中農生のゲストを呼び、毎月放送しています。最終週の火曜日12時20分はFM87で中農の魅力が随時、発信してまいりますので是非！聞いてください！！

令和4年度 第52回東北北海道 学校農業クラブ連盟意見発表大会

令和4年6月14日（火）～15日（水）にかけて、本校を当番校として東北北海道学校農業クラブ意見発表大会が開催しました。コロナ禍において、対面での発表が難しい中でしたが、感染症対策を講じ、3年ぶりに集合形式での大会運営を行うことができました。各校のクラブ員の意見発表を直接聞くことができ、とても良い刺激になりました。また、今年度は分野Ⅱ類で優秀賞、分野Ⅲ類で最優秀賞を受賞し、全道大会への出場の切符を獲得することができました。



運営 本村 結唯

今回の意見発表大会で私は、人生で初めて司会の仕事を任せられました。大きな行事ごとで仕事を任せてもらえることに最初はなんだか大変そうな役割を引き受けてしまったな…という感覚でした。実際にやってみて、やはり想像通り難しく大変でした。特に滑舌があまりよくない私は、拗音がある言葉をよく噛んでしまったりして実力的にもまだまだだなと感じました。ですが、練習を重ねるにつれ上達しました。新しく経験できることが楽しく大変だった半面、やりがいのある役割を任せられ、私にとって、とても有意義な大会にすることが出来ました。



分野Ⅲ類

石井あみ

今回の東北北海道意見発表大会に出場し、私は「子ども食堂」をテーマに発表しました。当日の発表では、緊張してしまい発表時間が早くなってしまう等、改善点は多々ありましたが分野Ⅲ類にて最優秀賞を受賞することができました。私はこれまで、大勢の前で自分の考えを発表する機会はありませんでした。なので、多くの聴衆者から納得し、認められるような発表をしたという考え練習に励んできました。その成果が今大会の最優秀賞という結果に繋がったと思います。今後は8月25～26日に開催される全道意見発表大会に向け更に練習を重ね、質の高い発表を目指して頑張ります。

分野Ⅱ類

水本弘美

6月末、しるべつとホールで行われた東北北海道意見発表大会に出場しました。当日は緊張しすぎること無く、程よい緊張感の中発表に臨むことが出来ました。結果、優秀賞を獲得することができ、8月末に真狩村で行われる全道大会への出場が決まりました。初めて全道大会という大舞台に立つことができ、東北北海道代表として、後悔のないようにやり切りたいと思います。また、いつも協力していただいている農家さん。遅くまで練習に付き合ってくださる先生方。学校まで迎えに来てくれる両親など、多くの人たちの応援があつてこそ頑張れるので、その想いを背負って全道大会に挑んでいきます！

分野Ⅰ類

筒淵光人

今回の東北北海道意見発表大会で、中標津農業高校のⅠ類代表者として発表をしました。発表に向け、ギリギリまで先生や同級生に協力してもらい昼休みや放課後の時間を使って練習をしました。それでも不安は尽きず、前日の夜は胃を痛めるほどでした。当日は緊張から、あまり自分らしさを出せず、入賞することができませんでした。正直、悔しい思いをしました。しかし、私は今まで学校の代表としてこのような大会に出場したことが無かったので、とても良い経験となりました。この経験を活かし、12月に行われる実績発表大会では良い結果を残せるよう、今日から努力をしていきたいと思っています。

部活動紹介



農高太鼓局です。私たちは、現在9名という少ない人数で活動をしています。昨年までは新型コロナウイルス感染症の影響で演奏を披露する場がありませんでしたが、今年度は徐々に演奏会の機会も増えて、とても嬉しく思っています。

感染症の終息と地域の活性化を願って、様々な場所で演奏ができれば良いと願うばかりです。地域の皆さんも、私達の演奏を聞く機会があれば、ぜひ足を止めて応援してください！ よろしくお祈りします。



私たちは選手8名で元気に活動をしています。今年度は単独チームでの出場が厳しい状況ですが、公式戦での「勝利をすること」を目指して頑張っています。高校からサッカーを始めた人が多く、技術的にはまだまだなところはありますが、サッカーの「止める・蹴る・走る」を中心に日々基礎・基本練習をしています。練習成果を発揮して、サッカー・フットサルともに貪欲に勝ちにこだわって試合に臨んでいきます。



美術部は現在9名で活動をしています。全員で取り組む活動もありますが、ほとんどが個人での創作活動であり、ひとりひとりが自分の目標を持って活動していますが、部員同士の話が絶えることなく、明るく楽しい部活動です。部員それぞれに得意なジャンルや個性があるため、お互いにアドバイスをすることで画力の向上を図っています。自分の感性を活かしながら自由な表現で描くことを大切に、自分らしい絵を描けるよう頑張ります。



私達バドミントン部は、「全道大会出場」というチーム目標を掲げ、それを達成させるべく日々の活動に積極的に励んでいます。部長も含め、殆どの部員が高校生から競技を始めた初心者ではありますが、顧問の日下先生・山口先生・菊地先生ご指導の下、厳しい練習もみんなで励まし合いながら切磋琢磨しています。競技力向上だけでなく部活動を通して人間性も同時に磨き、高校を卒業して社会に出てからも活躍できるような人材になることができるように頑張ります。



ボランティア部は現在2名で活動をしています。先日、中標津青年会議所様から声をかけていただき、なかしべつ夏祭りに参加してきました。地域の方々と交流することができ、充実した時間を過ごすことができました。



卓球部では2年生4名、1年生1名の計5名が所属しています。内3名は初心者ですが、ラケットの握り方やルールを学ぶところから始め、今では中標津や根室管内だけでなく、全道大会へも出場しています。卓球は生涯スポーツと言われ、オリンピックや世界選手権の競技にもなっています。高校生に限らず、老若男女が集う大会で技術を習得し、コミュニケーション能力が身につけられるよう頑張っています。



陸上競技部は現在3年生2名、2年生2名の4名で活動しています。人数は少ないですが、それぞれ目標を持ち、日々努力しています。競技などは違いますが、部活動では皆、仲良く協力し合うこともできて楽しかったと感じています。技術向上を目指し、日々練習を重ねていくように頑張ります。

研究班活動

動物活用研究班

今年度は2年生8名、3年生6名の14名と8頭のウシたちで活動を進めています。令和元年に取得したJGAP認証を維持し、安全な乳生産を行っています。また、今年度はたい肥舎横にヒマワリを播種し環境負荷について学習するとともに、世界的問題となっているエネルギー問題についても考えを深めます。



植物活用研究班(野菜)

「野菜班」では、土壌や水たまりなど、どこにでもいる光合成細菌という微生物を野菜栽培に用いて、果菜類や葉菜類の品質向上を目指し、研究活動に取り組んでいます。昨年度はトマトを中心に栽培試験を行い、生長促進や糖度、収量が向上する成果が得られました。収穫した野菜は中標津地方卸売市場を通じて、町内の小売店で販売し、地産野菜の普及活動にも力を入れています。今後も研究を重ね、光合成細菌の農業利用の可能性を実証していきたいと思ひます。



植物活用研究班(草花)

「草花班」では、2年前からEM菌を用いた生ゴミ発酵肥料を自分たちで作成し、環境にやさしい花栽培実験を行っています。食品ロスを減らすことで、環境に配慮した有機肥料の使用による費用対効果向上を目指しています。今年度は新たな試みとして、生ゴミを発酵させる際に必要となるEMポカシに関しても自家生産を試みました。今後、フラワーアレンジメントに関しても力を入れていきたいです。



乳加工研究班

乳加工研究班では地域課題でもある、牛乳の消費低迷の深刻化を着目し、牛乳の機能性を活かした活用法の研究活動に日々取り組んでいます。また、地域貢献活動として、牛乳をキーワードにした食育活動として、和食と牛乳を組み合わせた「乳和食」に関する活動等、管内の学校を始め様々な場面で活動を展開しています。



肉加工研究班

肉加工研究班では、エゾシカの“まるごと”活用をテーマに研究を進めています。昨年度は、副産物活用としてレザークラフトや脂を使ったキャンドル作りに取り組み、コカ・コーラ環境教育賞にて最優秀賞ならびに環境大臣賞を受賞することができました。今年度は地域と連携した活動をさらに進め、開発した各種製品の販売を目指していきます。



マネージメント研究班

マネージメント研究班では、子ども達と一緒に食育学校やかぼちゃんたんぽプロジェクト取り組んでいます。これからも地域の方々との交流を大切に活動を進めていきます！



農産加工研究班

私たち、農産加工研究班は小麦の六次産業化を目指して活動をしています。この活動は中標津町の新規作物である小麦の生産から加工・販売までを行うことで、中標津町への理解を深めると共に、町の新たな特産品を生み出し町の振興を目指します。

